

20180620 大阪府北部地震検討会

平成30年6月18日発生の
大阪府北部を震源とする地震に関する
医療の動き

災害医療国際協力学分野
佐々木宏之

6月18日(月)

7:58 地震発生（最大震度6弱、大阪府北区、高槻市、枚方市、茨木市、箕面市）

【参考】日本DMAT活動要項

1. DMATの待機要請

- 次の場合には、**すべてのDMAT指定医療機関**は、被災の状況にかかわらず（中略）DMAT派遣のための**待機**を行う。
 - その他の地域で震度6弱以上の地震発生

9:46 大阪府庁 DMAT調整本部立ち上げ

〈活動方針〉 **医療機関被害状況把握→EMIS（広域災害医療救急情報システム）**

1. **災害拠点病院連絡確認**
2. 病院耐震化データを元に被害病院の予想
3. 保健所によるその他の非救急告示病院調査

6月18日(月)

11:08 厚労省医政局DMAT事務局よりDMAT派遣要請

1. 派遣要請都道府県：**大阪府・兵庫県・京都府・滋賀県**のDMATの派遣を要請
2. 以下の活動拠点本部に参集してください。
兵庫県内DMAT→豊能医療圏DMAT活動拠点本部（大阪大学医学部附属病院内）
京都府内DMAT・滋賀県内DMAT→三島医療圏DMAT活動拠点本部（三島救命救急センター内）
大阪府内DMATは大阪府DMAT調整本部の指示に従ってください
3. 広域災害・救急医療情報システムDMATメニューへ入力するよう指導方お願いいたします。

医療圏

大阪府では特性や地域における患者の受療動向や日常の生活行動等をふまえ、包括的な保健医療サービスを効率的に提供するにふさわしい地理的広がりを持った医療圏を設定しています

豊能医療圏
DMAT活動拠点本部
(大阪大学医学部附属病院内)

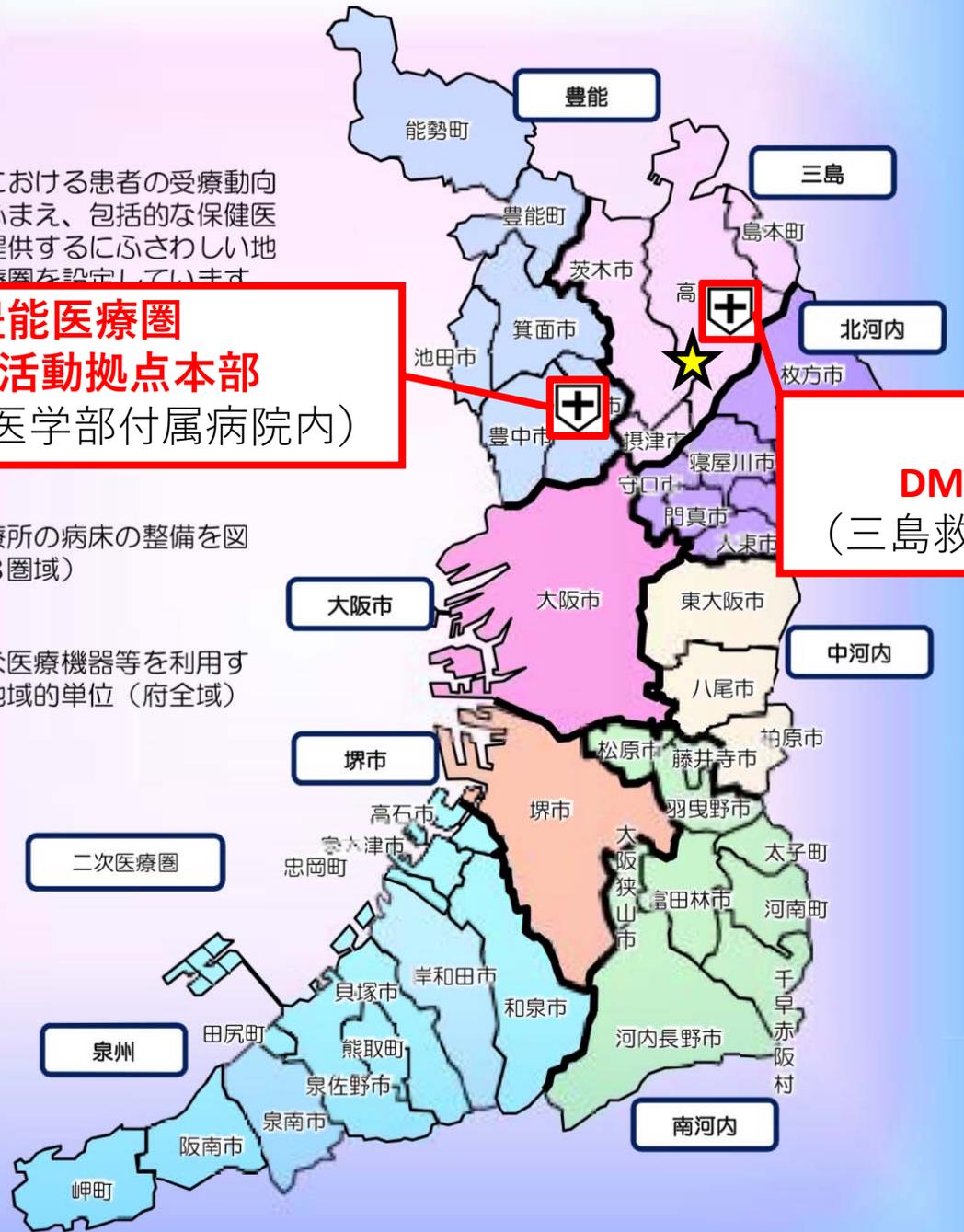
三島医療圏
DMAT活動拠点本部
(三島救命救急センター内)

○二次医療圏

主として病院及び診療所の病床の整備を図るべき地域的単位（8圏域）

○三次医療圏

先端的な技術や高度な医療機器等を利用する特別な医療を行う地域的単位（府全域）



6月19日(火)

17:01 厚労省DMAT事務局

保健医療調整本部活動方針 6月19日(火曜日) 15時現在

1. **保健所を中心とした地域災害医療体制の確立の維持**
 - ①代表保健所4か所による医療圏内会議の継続開催
 - ②代表保健所の本部機能強化必要性の精査
2. 医療ニーズの把握の継続
3. 避難所アセスメントとEMISへ登録の確認と解析準備
4. 保健医療調整本部の勤務シフト作成

災害医療→通常医療へ

医療→保健・福祉へ

府・DMAT→地域・保健所へ

※DPAT（災害派遣精神医療チーム）：発災当初から体制整備、活動
感染症学会関連：基幹病院が通常診療体制のため、ICT等派遣せず

都市型災害での医療の課題(ポイント①～⑤)

① 職員の通勤問題(初

② エレベーター問題

③ 通信問題:病院被災

④ ライフライン途絶問題
(比較的大丈夫だった)

⑤ 保健所を中心としたスムーズな地域災害医療
体制への移行

BCP、災害対策マニュアル整備

〈事前対策〉

1. 重要業務、優先業務の決定
2. 復旧計画(代替手段、コンタクトリスト、協定)
3. 衛星通信、緊急時連絡先
4. 貯水槽耐震対策、備蓄、代替手段(井戸、ガスコンロ等)